

野川整備工事（その204）工事説明会の議事要旨

1 開催概要

日時	令和7年5月13日（火曜日）18時00分～20時00分
場所	世田谷区鎌田区民集会所（世田谷区鎌田2-1-14）
参加人数	14名

2 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨）

ご質問・ご意見	都の回答
大きな工事車両がう回路を通ることがあるのか、子供の通学路の配慮はどうするのか。	大型車は道が狭く入れないため、工事車両は4t車がメインとなります。必要に応じて交通誘導員を配置して安全を確保します。また、周辺で同時に行っている工事3件で、連携するよう調整して交通誘導員を配置します。
家屋調査の訪問人数、時間、調査場所はどこか。土日も良いか。202工事で損害が発生したか。	調査量により、4～5人又は2～3人程度で訪問します。時間は2時間前後かかります。立ち合いをお願いします。屋内、屋外のひび割れや床の傾きなど、状況を確認します。土日でもご希望があれば行きます。前回の202工事においては、現在、被害は発生していません。
外灯を撤去するが、暗くなるので、安全性の確保はどうするのか。別のライトをつけるのか。	家の裏側にフェンスを取り付け、20～30mごとにライトをつける予定があります。第三者が入れないようにして安全性を確保します。
鋼管杭の径・厚み・長さを教えてもらいたい。鋼管は残置するのか、耐用年数は、地中でサビないか。	径320mm、厚み10mm、長さ8mです。鋼管は径400mmの穴を掘って建込みます。この構造上、表裏ともにモルタルを充填して固めるので、鋼管は腐食しません。

地表からのアクリル板の高さはどのくらいか。アクリル板の耐用年数は。	地表面から60cmコンクリート+50cmアクリルパネルの合計110cmの高さとなります。耐用年数は約50年です。途中で交換も可能な構造になっています。
203～205 工事と連続するが、通勤通学の交通が多いので、各工事の交通誘導員は連携をして安全を確保してほしい。	各工事で連携して対応します。重複するところは分配して対応し、必要なところに交通誘導員を配置します。
野川水道橋のたもとに町会の掲示板があるがどうするのか。	一時撤去の予定だが、必要があれば工事エリア外に設置します。
河川管理用通路の横斜面に花を植えているが、どうしたらよいか。	花が植えられている部分は掘削範囲外だが、資材置き場に使用したいこともあるので、どうするかご相談させてください。
大雨時は土のうを用意しているか。	水防用で土のうは用意してあります。
ミキサー車やダンプは道に待機しないでほしい。	時間指定で運搬しているので、路上待機はありません。
上流からの水の対策、内水氾濫、工事終了後の交通対策等考えてほしい。	(世田谷区)流域対策を進めます。開発に合わせた対策を指導したり、内水は、浸透施設やポンプ排水を整備しています。根本対策は東京都下水道局に要望しています。

工事中の災害（水害）対策をしっかりと、町会とも連携を取ってもらいたい。	雨の時、河川の断面を狭めないように工事をしていきます。既存の護岸高さは維持しております。都・区・工事業者で連携して水防対応します。町会とも連携できるよう考えます。
今回工事を行わないところは、いつ工事を行うのか。	道が狭い所等があり、施工方法を検討しています。順次工事は行っていきます。
工事終了後、河川管理用通路の路面が沈下するのではないかとチェックをする予定はあるか。沈下した時は補修を行ってほしい。	工事終了後、地盤が落ち着くのは約6か月後と言われており、道路等が沈下していれば補修を行います。

以上